

開田裕治 選出 ● 怪獣デザイン部門



サンダリオン (広島県・長崎裕希様)

力作の数々に「大変な選考だった」と開田さん。大ギガラ部門では3作品に絞って熟考の末、抜群の画力と実在感豊かなサンダリオンを選出。若ギガラ部門も悩んだ末に、発想力の素晴らしさから怪獣島の水生生物を選んだという。



怪獣島の水生生物 (千葉県・奏一郎様)



惜しくも入賞を逃した熱海海底怪獣ババン・ド・ドン(左)、アツミサマ(右)。伊藤さん選出のアタミスも含めて開田さんを悩ませた傑作たち。

● 熱海の未来賞 (熱海市の応募者限定)



サンビーチの怪獣、ザブーン

(静岡県・小口真世様)

癒しを感じさせる絵と設定で、映画祭スタッフらの投票により受賞!



1名に贈呈・副賞の巨大獣ガッパ!

今年も(株)エクスプラスから特別協賛の副賞が提供され、熱海を襲った巨大獣ガッパ(少年リック限定商品)を入賞者のうち1名に贈呈。さらに1名に来年の熱海怪獣映画祭ポスター原画製作がオファーされます(後日発表)。

● JR東日本 熱海駅駅長賞



チャバゴン (東京都・谷田馨様)

「品種改良のお茶+みかん×突然変異=東海道線カラーの怪獣」に熱海駅長も大喜び!

特別入選 ● オオニシカンジ賞



スイリュウ (静岡県・山口祐奈様)

選出理由は、「デザイン、色彩ともに優れている」とデザイナーの大西幹治さん。

伊藤和典 選出 ● 怪獣設定部門



アタミス (東京都・あけがた あと子様)

伊藤さんは、アタミスが醸し出す“海のどこかには未知の何者かが存在する”と思わせる絵柄、大好物の詳細な設定を評価。一方、うみのきょうりゅうは絵そのものに“瞬殺”され、「鼻行類」にも似た存在感にひかれたとのこと。

うみのきょうりゅう

(静岡県・桑原陽那様)



新怪獣 総進撃 2024

新怪獣お絵かきコンクール 入賞作品紹介

恒例の「新怪獣お絵かきコンクール」には、今年も全国から約200体の怪獣が結集。ここでは、「怪獣絵師」の異名を持つイラストレーター・開田裕治さん、「ゴジラ伝説」で知られる音楽家・井上誠さん、平成ガメラシリーズの脚本家・伊藤和典さんが、若ギガラ(未成年)と大ギガラ(成年)に分けて選出した怪獣たちを中心に、各入賞作品をご紹介します。

井上誠 選出 ● 怪獣アート部門

シンカイラを見て「鼻先のツノは深海で光ったらかっこいいな」「見ていてずっと楽しめた」と想像を膨らませる井上さん。花火や夜景などに感化されると形状や模様が変わるアタミラスも「ぜひ映像化してほしい」と絶賛。



シンカイラ (神奈川県・土田現太様)

アタミラス (千葉県・嵐様)

